

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 5 月 7 日 (2009.5.7)

【公開番号】特開 2005-167645 (P2005-167645A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-024
 【出願番号】特願 2003-403967 (P2003-403967)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/44 A

H 0 4 N 5/91 P

H 0 4 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 23 日 (2009.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デジタル映像音声信号を受信するデジタル信号受信装置において、
前記デジタル映像音声信号にはコピー制御情報が付随しており、
前記デジタル映像音声信号を受信する受信手段と、
前記受信手段において受信した前記デジタル映像音声信号を記録再生する記録再生手段
と、
前記記録再生手段において記録し、再生された前記デジタル映像音声信号をデジタル信
号として出力する第 1 の出力手段と、
前記記録再生手段において記録し、再生された前記デジタル映像音声信号をアナログ信
号として出力する第 2 の出力手段と、
前記記録再生手段、前記第 1 の出力手段及び前記第 2 の出力手段を制御する制御手段と
を備え、
前記制御手段は、受信した前記デジタル映像音声信号に付随している前記コピー制御信
号が一世代のコピーの許可を示す場合に、
受信した前記デジタル映像音声信号を記録し、
記録した前記デジタル映像音声信号を再生して前記第 1 の出力手段から出力するときに
はコピー不可として出力し、
記録した前記デジタル映像音声信号を前記第 1 の出力手段から外部の記録装置にムーブ
するときには、記録した前記デジタル映像音声信号を前記デジタル信号受信装置に保持し
、保持した前記デジタル映像音声信号を前記第 2 の出力手段から外部の記録装置で記録可
能な状態で出力できるようにすることを特徴とするデジタル信号受信装置。

【請求項 2】

デジタル映像音声信号をデジタル信号受信装置で受信するデジタル信号受信方法におい
て、
前記デジタル映像音声信号にはコピー制御情報が付随しており、

前記デジタル映像音声信号を受信し、
受信した前記デジタル映像音声信号を記録再生し、
記録再生された前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として出力し、
記録再生された前記デジタル映像音声信号をアナログ信号として出力し、
受信した前記デジタル映像音声信号に付随している前記コピー制御信号が一世代のコピーの許可を示す場合に、
受信した前記デジタル映像音声信号を記録し、
記録した前記デジタル映像音声信号を再生してデジタル信号として出力するときにはコピー不可として出力し、
記録した前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として外部の記録装置にムーブするときには、記録した前記デジタル映像音声信号を前記デジタル信号受信装置に保持し、保持した前記デジタル映像音声信号をアナログ信号として外部の記録装置で記録可能な状態で出力できるようにすることを特徴とするデジタル信号受信方法。

【請求項 3】

デジタル映像音声信号をデジタル信号送信装置より送信し、デジタル信号受信装置で受信するデジタル信号送受信方法において、
前記デジタル映像音声信号をコピー制御情報とともに前記デジタル信号送信装置より送信し、
前記デジタル映像音声信号を前記デジタル信号受信装置で受信し、
受信した前記デジタル映像音声信号を記録再生し、
記録再生された前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として出力し、
記録再生された前記デジタル映像音声信号をアナログ信号として出力し、
受信した前記デジタル映像音声信号に付随している前記制御信号が一世代のコピーの許可を示す場合に、
受信した前記デジタル映像音声信号を記録し、
記録した前記デジタル映像音声信号を再生してデジタル信号として出力するときにはコピー不可として出力し、
記録した前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として外部の記録装置にムーブするときには、記録した前記デジタル映像音声信号を前記デジタル信号受信装置に保持し、保持した前記デジタル映像音声信号をアナログ信号として外部の記録装置で記録可能な状態で出力できるようにすることを特徴とするデジタル信号送受信方法。

【請求項 4】

デジタル映像音声信号を送信するデジタル信号送信方法において、
前記デジタル映像音声信号をコピー制御情報とともに送信し、
前記コピー制御情報は、無制限のコピーの許可、一世代のコピーの許可、コピーの禁止のいずれかを示し、
前記コピー制御信号が一世代のコピーの許可を示す場合に、
前記デジタル映像音声信号を受信する受信装置において受信した前記デジタル映像音声信号を記録し、
記録した前記デジタル映像音声信号を再生してデジタル信号として出力するときにはコピー不可として出力し、
記録した前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として外部の記録装置にムーブするときには、記録した前記デジタル映像音声信号を前記デジタル信号受信装置に保持し、保持した前記デジタル映像音声信号をアナログ信号として外部の記録装置で記録可能な状態で出力できるようにすることを示すことを特徴とするデジタル信号送信方法。

【請求項 5】

デジタル映像音声信号を受信するデジタル信号受信装置において、
前記デジタル映像音声信号にはコピー制御情報が付随しており、
前記デジタル映像音声信号を受信する受信手段と、
前記受信手段において受信した前記デジタル映像音声信号を記録再生する記録再生手段

と、

前記記録再生手段において記録し、再生された前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として出力する第１の出力手段と、

前記記録再生手段において記録し、再生された前記デジタル映像音声信号をアナログ信号として出力する第２の出力手段と、

前記記録再生手段、前記第１の出力手段及び前記第２の出力手段を制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、受信した前記デジタル映像音声信号に付随している前記コピー制御信号が一世代のコピーの許可を示す場合に、

受信した前記デジタル映像音声信号を記録し、

記録した前記デジタル映像音声信号を再生して前記第１の出力手段から出力するときにはコピー不可として出力し、

記録した前記デジタル映像音声信号を前記第１の出力手段から外部の記録装置にムーブ、または、アナログ信号として外部の記録装置で記録可能な状態で出力できるようにすることを特徴とするデジタル信号受信装置。

【請求項６】

デジタル映像音声信号をデジタル信号受信装置で受信するデジタル信号受信方法において、

前記デジタル映像音声信号にはコピー制御情報が付随しており、

前記デジタル映像音声信号を受信し、

受信した前記デジタル映像音声信号を記録再生し、

記録再生された前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として出力し、

記録再生された前記デジタル映像音声信号をアナログ信号として出力し、

受信した前記デジタル映像音声信号に付随している前記コピー制御信号が一世代のコピーの許可を示す場合に、

受信した前記デジタル映像音声信号を記録し、

記録した前記デジタル映像音声信号を再生してデジタル信号として出力するときにはコピー不可として出力し、

記録した前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として外部の記録装置にムーブ、または、アナログ信号として外部の記録装置で記録可能な状態で出力できるようにすることを特徴とするデジタル信号受信方法。

【請求項７】

デジタル映像音声信号をデジタル信号送信装置より送信し、デジタル信号受信装置で受信するデジタル信号送受信方法において、

前記デジタル映像音声信号をコピー制御情報とともに前記デジタル信号送信装置より送信し、

前記デジタル映像音声信号を前記デジタル信号受信装置で受信し、

受信した前記デジタル映像音声信号を記録再生し、

記録再生された前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として出力し、

記録再生された前記デジタル映像音声信号をアナログ信号として出力し、

受信した前記デジタル映像音声信号に付随している前記制御信号が一世代のコピーの許可を示す場合に、

受信した前記デジタル映像音声信号を記録し、

記録した前記デジタル映像音声信号を再生してデジタル信号として出力するときにはコピー不可として出力し、

記録した前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として外部の記録装置にムーブ、または、アナログ信号として外部の記録装置で記録可能な状態で出力できるようにすることを特徴とするデジタル信号送受信方法。

【請求項８】

デジタル映像音声信号を送信するデジタル信号送信方法において、

前記デジタル映像音声信号をコピー制御情報とともに送信し、

前記コピー制御情報は、無制限のコピーの許可、一世代のコピーの許可、コピーの禁止のいずれかを示し、

前記コピー制御信号が一世代のコピーの許可を示す場合に、

前記デジタル映像音声信号を受信する受信装置において受信した前記デジタル映像音声信号を記録し、

記録した前記デジタル映像音声信号を再生してデジタル信号として出力するときにはコピー不可として出力し、

記録した前記デジタル映像音声信号をデジタル信号として外部の記録装置にムーブ、または、アナログ信号として外部の記録装置で記録可能な状態で出力できるようにすることを示すことを特徴とするデジタル信号送信方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】デジタル信号受信装置、デジタル信号受信方法、デジタル信号送信方法及びデジタル信号送受信方法

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

上記課題を解決するため、本発明の一実施の態様は、例えば特許請求の範囲に記載された技術的思想を用いればよい。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】